

九州朝日放送番組審議会議事概要（1月分）

第569回	九州朝日放送番組審議会 議事概要
開催年月日	平成27年1月13日（火）午後4時～5時30分
開催場所	九州朝日放送 本社役員会議室
出席者	<p>委員総数 8名 出席委員数 8名</p> <p>（出席委員） 光富彰委員長、宇加治恭子副委員長 三好京子委員、松村茂雄委員 宇佐見昇委員、藤田ひろみ委員 古宮洋二委員、宮田克彦委員</p> <p>（放送事業者側出席者名） 代表取締役社長 武内健二、常務取締役編成制作局長 半田俊彦 ラジオ局長 窪田雅美、報道局長 佐伯拓史 視聴者・広報室長兼番組事務局長 久芳康治 スポーツ部長 松崎好彦、番組プロデューサー 青木雄二 番組審議会事務局長代行 今村洋子、事務局・ラジオ編成業務部 都合信司</p>
議題	<p>1. テレビ番組 「熱烈応援@福岡マラソン2014 ほっこり&驚きエピソード大追跡SP」 2014年12月23日（火・祝）午前9時54分～10時50分で放送</p> <p>2. 平成27年1・2月ラジオ・テレビ番組編成状況 平成26年11月、12月視聴者・聴取者応答状況等の報告</p>
議事の概要	<p>◎委員の意見の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○マラソンスタート地点・天神のクレーンカメラを使った映像がすばらしかった。 ○エピソードを丹念に拾っていて、心温まる取材をしていた。 ○楽しく退屈しない番組だった。ランナーと応援する人たちの一体感、また大会の盛り上がり伝わってきた。 ○番組中にインターネットでの動画公開告知をしていたのが面白いと思った。 などの評価を頂きました。 <p>また、気になる点や望むこととしては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市の中心部からすぐ郊外に移った印象。ビルの谷間で走る人たちの映像も欲しかった。 ○あわただしい師走の放送でなく、お正月番組として編成しても、落ち着いて視聴できたのではないか。 ○「ほっこり」はする番組だったが、タイトルにある「驚き」というほどではなかった。 ○全国的なイベントとして定着すれば良いと思うし、地元の放送局として地域貢献のためにも今後も番組を続けて欲しい。 などの批評や提言を頂きました。 <p>これらに対して、担当者から、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スタート地点・天神の映像にはこだわった。お褒めいただき嬉しい。 ○大会前からラジオ、テレビの各番組で盛り上げ企画を続けて、マラソン当日の放送、そしてレース後に寄せられたエピソードを追加取材して今回の番組を制作した。 ○ランナー、応援の人などそれぞれのストーリーをどのような形で伝えられるかは永遠の課題だと思っている。 などの説明を行いました。